

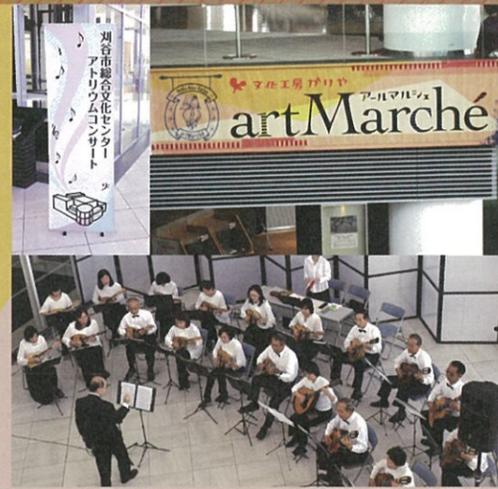


刈谷市総合文化センター アトリウム イベント  
**artMarché** 芸術市場

ちょこっと裏話その5 「違いが分かる人になる」

あなたはエントランスアトリウムで行われる無料の催しが2種類ある事をご存知だろうか。文化工房かりや主催の『アールマルシェ』と刈谷市総合文化センター主催の『アトリウムコンサート』の2種類だ。セットの様子やスタッフの顔ぶれはほぼ変わらず、どちらも気軽に文化芸術に触れられる機会を提供することで地域文化の発展を目指す。では何が違うのか。一番大きな違いは出演者だ。『アールマルシェ』はプロ・アマを問わず、刈谷市に関わりがある人が参加でき、『アトリウムコン

サート』は地元の音大生を中心とした若手音楽家に活躍の場を提供している。例えばあなたが音大生ではないが、アトリウムで演奏したいのならば、アールマルシェの出演者募集に応募すればいいのだ。「そんなこと言われても分からない」と言う人には、とっておきの見分ける方法がある。それは看板だ。どちらの催しにもオリジナル看板がある。是非、会場で看板を見つけて隣の人は今日どちらの催しなのか教えてあげて欲しい。今日からあなたは「違いが分かる人」なのだから。[担当: 栗田]



お知らせ

平成28年度前期出演者を2月中旬まで募集しています。締切日や応募方法などの詳細は刈谷市総合文化センターホームページをご覧ください。  
<http://www.kariya.hall-info.jp/>

これからの公演スケジュール

- 1月16日(土) 13:00~14:00(予定)  
 出演者 やぶちゃんず(ギター弾き語り・ロボットダンス等)  
 よせ鍋くん(ギター弾き語り等)
- 3月19日(土) 13:00~14:00(予定)  
 出演者 Petit Four<プチフル>(クラリネット4重奏)  
 M-Cat(ジャズダンス)

感動の渦の中!  
 無事公演を終了

刈谷市制 65 周年記念事業 市民劇  
**はるかにつながる空の下**



約900人のお客様にご来場いただき無事終了いたしました。やはり、本番が一番素晴らしい出来栄となりました。帰り際にお客様から多くの感動したとお声をいただき、胸がいっぱいになりました。みんなで創りあげる舞台って、本当にいいですね! 続きはあるのでしょうか...? これからの文化工房かりやの企画を楽しみにしてくださいね。

10月より放送日が毎月第3・第4水曜日に変更しました。

市民目線の“ネキミ”文化  
**文化工房かりや**  
**カリチャー**  
**倶楽部**  
 毎月第3・第4水曜日  
 午後4時から1時間放送  
 Pitch FMラジオ番組  
 83.8MHz

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

**文化工房かりや**

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104  
 TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440  
 mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp



- Twitter: @B\_K\_kariya
- Facebook: bunkakouboukariya
- Blog: bkkariya.wordpress.com

FREE

# BUN-KA

Kariya Culture [ブンカ]

新春号  
 vol 14  
 2016



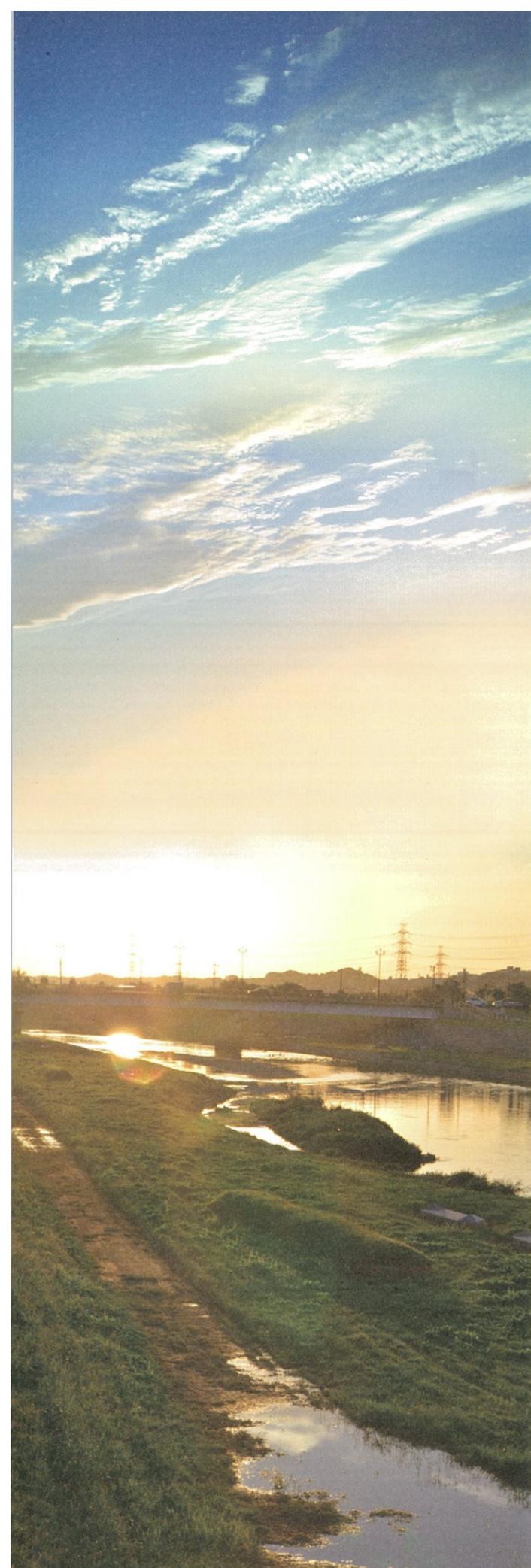
市民劇「はるかにつながる空の下」舞台写真

[2016年新春特集]  
**刈谷の身近な申・さる・猿**

[ぶんかのめ]  
 和太鼓奏者 羽田康次氏

[アールマルシェ]  
 ちょこっと裏話その5

[information]  
 「はるかにつながる空の下」無事公演を終了



## 2016年新春特集 刈谷の身近な申・さる・猿

新年あけましておめでとうございます。2016年はさる(申)年ということで、新春特集として刈谷市内の「さる」に関するスポット取材してきました。郷土の民話で知られた場所から、今までちょっと気づかなかったような所まで、意外と身近なところに隠れている「さる」たちを探してみました。

### ■猿渡川

まず向かったのは「猿渡川(さわたりがわ)」です。この川の名前の由来は、あの空海(弘法大師)にまつわる民話に由来しています。



弘法大師がこの川に差し掛かった所、小猿の兄弟が喧嘩をしているのが目に入りました。どのように猿たちが川を渡るのかをさらに見ていると、親猿は自分がない場所で兄猿と弟猿が一緒にならないように、交互に小猿を背負って川を渡りました。弘法大師はその親猿の知恵に感心し、ここを猿渡川と名づけました。

かつては猿たちも渡るのに苦労したこの川ですが、今では立派な橋がいくつもかかるようになりました。そのうちの一つ「巡見橋(じゅんけんばし)」の欄干には、この民話の様子を表した絵が掛けられています。

### ■庚申塚

一半城土町&今岡町・今岡神明社一  
続いては「申」の文字が入る地名、半城土町の「庚申塚」に足を運びました。



ところで庚申塚って、一体何のためのものかご存じですか?一見お地藏様のようにも見えますが、実は中国の道教に由来する信仰のために作られた石塔なんです。一年に一度、庚申(かのえさる)の日に人間の体内にいる虫が天にその人の悪事を伝えに行くとき、それを防ぐために庚申の日だけは徹夜して勤行をしたり、宴会をしたりするという習わしがありました。しかし時代が進むにつれて撤去されることも多くなり、今では現存するものは少ないとも言われています。ここ半城土町のも庚申塚という地名は残っているのですが、やはり塚そのものの姿はありませんでした。しかし今岡町の「今岡神明社(神明社)」の境内には、今もなお庚申塚が祀られています。近くの住民の方に話をうかがうと、かつては田んぼや畑の中にそれぞれ一つずつ庚申塚が祀られていたそうです。土地改良事業を機にそれらを一つにまとめ、この今岡神明社にお祀りすることになったといいます。

12年ぶりの「申」の年なので、この今岡神明社の庚申塚にもお参りしてみたいかと思いますが?

【取材に応じてくださった刈谷市民の皆さん、ご協力ありがとうございました!】[担当:磯村・近藤]

市民の文化にスポットライト

## ぶしかのめ



### ぶしかのめ vol.12

はだ・こうじ 刈谷市出身。中学生の頃から和太鼓を始め、高校卒業後より和太鼓演奏家集団に入団し活動する。1999年に「和太鼓ユニット光」を結成。地元愛知のみならず国内外でオリジナル曲を中心とした和太鼓の演奏活動を行う。愛知県内の学校やイベントにおける曲提供も手掛けている。



和太鼓奏者  
羽田 康次氏

## 心を照らす光になりたい

今回は刈谷市出身の和太鼓奏者、羽田康次さんにお話をうかがいました。1999年に同じく和太鼓奏者であり、奥様であるはだひかるさんと「和太鼓ユニット光(こう)」を結成。愛知県内のみならず、国内・国外を問わず演奏活動で大きく活躍されています。和太鼓との出会いや「光」の名前に込められた意味など、様々な語っていただきました。

「和太鼓を習い始めたのは中学3年生からですが、本格的にその魅力に引かれたのは高校生の頃です。新入生歓迎会で和太鼓の演奏をした際、その後のアンケートで『良かった』という回答が99%を占めました。太鼓は人の心を動かすんだということ、自分たちの演奏が誰かに喜んでもらえるということが、本当に嬉しく思いました。その気持ちは「光」結成の思いにも通じています。例えば、人生に行き詰まって絶望している人。そんな人が自分たちの演奏を聞いて、楽しかったな、もう一度頑張ってみようかな…と気持ちを切り替えられるような、心を照らす光になりたいと思っています。」

私もその場で羽田さんの演奏を聞かせていただきましたが、確かに体のすみずみに響き渡る力強い和太鼓の音色は、明日を切り開こうと思う原動力になると感じました。

生まれ育った街に太鼓を使ってお返しをしたいとの思いから、去年の4月刈谷にオープンさせた「和太鼓スタジオとことん」にて、教室の開催やスタジオライブを行い、和太鼓の魅力を伝える活動をしています。2歳の子どもからシニアまで幅広い年齢層の皆さんが和太鼓に夢中なんだそうです。[担当:野村・近藤・神谷]

### ■公演案内

2016年2月28日(日) 場所:アポロベイス(名古屋市)

Three Dragons 和太鼓 Special Live~三龍のひなまつり

2016年4月29日(金・祝) 場所:名古屋市芸術創造センター

東海和太鼓の会 打者伝(だもんで)

2017年1月22日(日)刈谷市総合文化センター大ホール

和太鼓ユニット光公演決定!

■和太鼓ユニット光公式ホームページ <http://www.wadaiko-koh.com>

■詳細は、文化工房かりやのブログ [<http://bkkariya.wordpress.com/>]で!

